

2001年10月21日(日)

報道関係各位

東京港開港 60 周年記念
2001 N T T トライアスロンジャパンカップ第 7 戦
第 7 回日本トライアスロン選手権東京港大会
2001 ジャパンカップ・シリーズチャンピオンシップ

レース速報

開催地：臨海副都心トライアスロン特設会場

開催日：2001年10月21日(日)

主催：日本トライアスロン選手権東京港大会実行委員会

((社)日本トライアスロン連合、東京新聞・東京中日スポーツ)

特別協賛：N T T 東日本

日本選手権チャンピオンは女子が関根明子、男子が田山寛豪

2001 N T T トライアスロンジャパンカップ最終戦、第 7 回日本トライアスロン選手権東京港大会が 10 月 21 日(日) 東京・お台場の臨海副都心トライアスロン特設会場で行われた。日本選手権、ジャパンカップシリーズチャンピオンの 2 大タイトルが決定する今大会に、女子 40 名、男子 74 名の有力選手が出場し、白熱したレースが展開された。

女子のレースを制したのは、関根明子(N T T 東日本・N T T 西日本)。今年のジャパンカップは石垣島大会と山口大会に続く 3 戦目だったが、昨年のシドニーオリンピック出場の賞禄を見せ、堂々の日本選手権チャンピオンに輝いた。続く 2 位には、'女王' 庭田清美(アシックス)が、3 位にはジャパンランキング 1 位、ジャパンカップ 7 連勝を目指した中西真知子(N T T 東日本)が入った。

引き続き行われた男子は、田山寛豪(流通経済大学)がジュニアでは初めての日本選手権チャンピオンとなった。2 位には田山とともに常にレースをリードしてきた山本淳一(シャクリー・稲毛 I T C)が入り、3 位には竹内鉄平(アラコ)が入った。またジャパンランキング 1 位の西内洋行(チームテイケイ)は惜しくも 4 位に終わった。

この結果、2001 ジャパンカップシリーズチャンピオンには、女子が最終戦での大逆転で 2 年ぶり 2 度目となる関根に、男子は山本が嬉しい初受賞となった。



日清製粉グループ

Vittel



JOMO

CASIO



new balance



NIDEK

キョーリン製薬

日本旅行



【女子】関根明子、2001年ジャパンカップシリーズチャンピオンに！

米国中核同時多発テロの犠牲者に対して、レース前に参加者全員での黙とうが行なわれた後、8時15分に女子のレースがスタートした。2周回のスイムをトップでフィニッシュしたのは中西、関根、庭田、中川絵理（愛知県協会）、下村真紀（チームテイケイ練習生）を中心とした11人の集団。バイクに入ってもその形を崩さず、そのままトランジションへ。トランジションを得意とする中川が一時トップに出たが、後を追う関根、庭田、中西が中川を抜き、ランに突入した。ランに圧倒的な強さを見せる関根、‘女王’の意地を見せたい庭田、ジャパンカップ完全優勝がかかる中西の3人のラン勝負を制したのは、圧倒的なスピードで終始リードした関根が見事2時間3分21秒で日本選手権初優勝に輝いた。32秒差の2位には庭田が入り、昨年のシドニーオリンピックに出場した2人が制した。また、ジャパンカップ6戦までのポイントランキング1位の中西が3位に入った。

今年、国内レース3戦目ながら日本選手権、ジャパンカップシリーズチャンピオンの2大タイトルを獲得した関根は「今年の最終戦で優勝できたことは非常に嬉しいし、来年につながると思う。ジャパンカップを獲得できたことは夢のようです」と喜びのコメントを残した。

【男子】田山寛豪、ジュニアで初の日本選手権覇者に！

女子に続き10時30分にスタートした男子のレース。スイムをトップでフィニッシュしたのは、ジュニアの田山と平野司（府立東豊中高校）、55秒遅れで西内、山本ら5人の集団がトップを追いかける展開となった。バイクに入ると6週目にトップ2人が後続の5人に吸収され、7人で集団を形成し、そのままランへ。平野、山本、田山、竹内鉄平（アラコ）らがレースを引っ張り、2週目にトップに出た田山がそのまま1時間53分4秒の成績で見事優勝。ジュニアでは初の日本選手権の覇者となった田山は「信じられないくらいに嬉しいです。スイムの調子が非常に良かったので、もしかしてという気持ちはありましたが、まさか優勝できるなんて...」と興奮した様子で語った。2位には1時間53分15秒で山本が、3位には1時間53分18秒で竹内が入った。

西内を抜き、ジャパンカップシリーズチャンピオンになった山本は「シリーズチャンピオンになったことは素直に嬉しいが、このレースに勝たなかった。来年は完全優勝を目指します」と力強いコメントを残した。



女子トップ10

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	3	関根 明子	26	2時間03分21秒	NTT東日本・NTT西日本
2	6	庭田 清美	30	2時間03分53秒	アシックス
3	1	中西 真知子	25	2時間05分32秒	NTT東日本
4	4	中川 絵理	20	2時間06分58秒	愛知県協会
5	7	下村 真紀	26	2時間07分27秒	チームテイケイ練習生
6	12	朝倉 悠加	20	2時間08分10秒	女子美術大学
7	20	廣瀬 梨江	24	2時間08分15秒	稲毛 ITC
8	34	志垣 めぐみ	27	2時間08分47秒	宮崎県連合
9	2	大松 沙央里	19	2時間09分04秒	日本女子体育大学
10	14	名取 仁美	18	2時間09分16秒	山梨学院大学付属高校

男子トップ10

順位	レース	氏名	年齢	タイム	所属
1	5	田山 寛豪	19	1時間53分04秒	流通経済大学
2	2	山本 淳一	27	1時間53分15秒	シャクリー 稲毛 ITC
3	3	竹内 鉄平	24	1時間53分18秒	アラコ
4	1	西内 洋行	26	1時間53分35秒	チームテイケイ
5	6	益田 大貴	21	1時間54分14秒	NITTOH TEAM KEN'S A&A
6	31	渡邊 明	20	1時間54分32秒	アラコ
7	11	斎藤 大輝	26	1時間55分14秒	アラコ
8	8	平野 司	18	1時間55分30秒	府立東豊中高校
9	12	朝川 洋明	23	1時間55分37秒	那須高原CSC
10	7	永留 誠	26	1時間55分44秒	神奈川県連合



【JTUジャパンランキング】

男子QF係数：1.81

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	569	山本 淳一	シャクリー・稲毛 IC
2	481	西内 洋行	チームテイケイ
3	445	竹内 鉄平	アラコ
4	433	田山 寛豪	流通経済大学
5	323	小原 工	チームテイケイ
6	282	益田 大貴	NITTOH TEAM KEN'S A&A
7	281	山本 良介	京都府協会
8	179	斎藤 大輝	アラコ
9	173	平野 司	東豊中高校
10	163	永留 誠	神奈川連合

女子QF係数：1.90

順位	獲得ポイント	氏名	所属
1	576	関根 明子	NTT東日本・NTT西日本
2	534	中西 真知子	NTT東日本
3	408	庭田 清美	アシックス
4	343	中川 絵理	愛知県協会
5	318	大松 沙央里	日本女子体育大学
6	240	下村 真紀	チームテイケイ練習生
7	218	須藤 雪絵	チームテイケイ
8	202	枇杷田 深雪	ニデック
9	129	朝倉 悠加	女子美術大学
10	121	井上 由佳子	岡三証券

〔気象状況〕 8時00分現在

天気：晴れ 気温：15.1 水温：20.2 風向・風速：北西・1.8m

参加選手 114名(男子74名・女子40名) 観衆：40000人

